

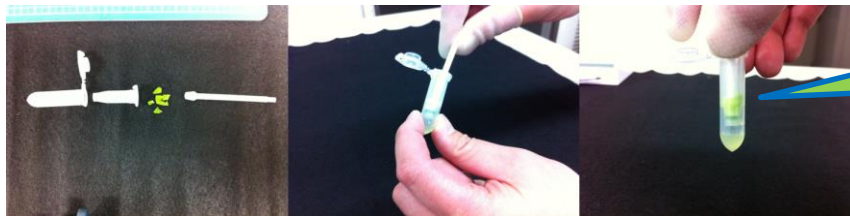
重要病害カンキツグリーニング病を迅速・簡便に検出する方法を開発！

- ・カンキツグリーニング病を、従来法よりも**迅速・簡便かつ低コストで診断できる方法**を開発しました。
- ・多数の樹体について感染の有無を容易に診断できるようになり、**根絶やまん延防止への貢献**が期待されます。

カンキツグリーニング病は、世界中のカンキツ主要栽培地域に加え、国内の西南諸島でも深刻な被害をもたらしています。有効な薬剤や抵抗性品種がないため、感染樹の早期発見・伐採が重要です。

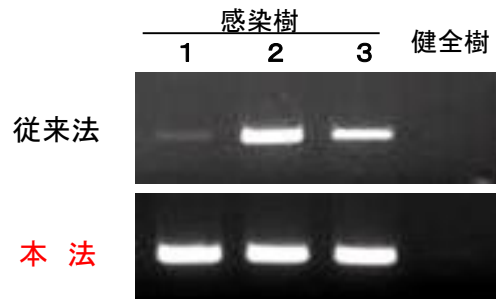
これまでの検定方法では、対象樹からDNAを抽出・精製しなければならず、多数の樹体を検定するには時間とコストがかかるという問題がありました。

そこで、**迅速・簡便に感染樹を検出し、しかも検出感度を向上させた検定方法**を開発しました。



水で葉をすり潰すだけ！

遺伝子検査(PCR法)



特徴①

検定に係る**時間が半分に短縮！**
50サンプル処理の場合、9時間→4.5時間

特徴②

試料の**調整費用が1/4～1/2に！**
1サンプルあたり、350～650円→160円

特徴③

簡単、安全で、環境にやさしい！

期待される効果

今回開発した方法を用いると、多数の樹体について感染の有無を容易に診断できるようになります。

○検査例：1日に260検体を検査
(従来法では1日に50検体程度)

その結果、**本病の根絶やまん延阻止に、国内外で大きく貢献できると期待されます。**

詳しい情報を知りたい、という方はお気軽にご連絡ください。

(国研)農研機構 果樹茶業研究部門 研究推進室(広報担当) Email: kaju-koho@ml.affrc.go.jp